（８）　な　　し

防除法 病害虫名	防除のポイント	薬剤防除 防除時期	RACコード	薬剤
1 赤星病 *Gymnosporangium asiaticum*	1.中間寄主のビャクシン類を伐採する。	３月下旬 ～５月中旬 （２～３回散布） ６月下旬 ～７月中旬	3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 7 7 7 7 7 M3 M3 M4 M9	ラリー水和剤 アンビルフロアブル トリフミン水和剤 ルビゲン水和剤 マネージDF スコア顆粒水和剤 サンリット水和剤 オンリーワンフロアブル ベランティ―フロアブル バシタック水和剤７５ アフェットフロアブル フルーツセイバー パレード１５フロアブル カナメフロアブル ロンセラーフロアブル ジマンダイセン水和剤 ペンコゼブ水和剤 オーソサイド水和剤８０ デランフロアブル
2 黒星病 ナシ： *Venturia nashicola* セイヨウナシ： *V.pirina*	1.落葉を集めて埋没処分する。 2.病枝（病斑のあるもの）を切り取る。 **〈薬剤使用の特記事項〉** 1.アルタベールフロアブルは、石灰硫黄合剤及びボルドー液との混用はできない。 2.アントラコール顆粒水和剤は６月上旬以降に使用する（未展開葉では、薬害のおそれがある）。 3.アントラコール顆粒水和剤は休眠期でも使用できる 4.ベルクート水和剤・フロアブルは、西洋なし品種ル・レクチェではさび果を生じるので使用しない。 5.アミスター１０フロアブルは樹勢の弱い樹に対しては葉に薬害を生じるおそれがある。 6.アミスター１０フロアブルは養分転換期（５月末まで）以前の散布は避ける。 7.ストロビードライフロアブルは開花始めから落花30日頃までの散布で薬害のおそれがあるので注意が必要である。 8.アミスター１０フロアブル、ストロビードライフロアブルは浸透性を高める効果のある展着剤は薬害のおそれがあるので使用しない。 9.フロンサイドＳＣの注意事項 ・散布後７日以内の入園はしない。 ・幸水などの赤なしの幼木や樹勢の劣る樹では、新葉に薬害が発生するおそれがあるので注意する。 ・ハウスでは使用しない。 10.ナリアＷＤＧは開花始めから落花20日後までの散布は葉に薬害が生じるおそれがある。 11.ナリアＷＤＧは西洋なし品種ル・レクチェには果実に薬害が生じるおそれがあるので、袋掛け後に使用する。 12.ミギワ２０フロアブルは開花期の散布により花弁に焼けを生じるおそれがあるので注意が必要である。	脱包直前 （３月上旬 ～下旬） 開花直前 （３月下旬 ～４月上旬） 落花後 （４月中旬 ～下旬） ５月上旬 ～10月上旬 （５～６回散布） 収穫後 （10～11月）	M1 M2 M1･UNM 1 1 3 3 3 3 3 3 3 3 7 7 7 7 7 9 11 11 11 29 52 52 M1 M1 M1 M3 M3 M3 M4 M5 M7 M7 M9 －(生) 3･7 7･11 7･M9 M1･M4 M3･M7 M4･M7 M1 M5 24･M1 24･M1 M1･M2	ＩＣボルドー４８Ｑ 石灰硫黄合剤 (混)アルタベールフロアブル トップジンＭ水和剤 ベンレート水和剤 ラリー水和剤 アンビルフロアブル トリフミン水和剤 ルビゲン水和剤 マネージDF スコア顆粒水和剤 サンリット水和剤 オンリーワンフロアブル ベランティ―フロアブル アフェットフロアブル フルーツセイバー カナメフロアブル パレード１５フロアブル ロンセラーフロアブル ユニックス顆粒水和剤４７ アミスター１０フロアブル ストロビードライフロアブル ファンタジスタ顆粒水和剤 フロンサイドＳＣ ミギワ２０フロアブル アイーナ２０フロアブル オキシンドー水和剤８０ キノンドーフロアブル ドキリンフロアブル アントラコール顆粒水和剤 ジマンダイセン水和剤 ペンコゼブ水和剤 オーソサイド水和剤８０ ダコニール１０００ ベルクート水和剤 ベルクートフロアブル デランフロアブル （生）エコショット (混)アクサーフロアブル （混）ナリアＷＤＧ (混)セルカディスＤフロアブル （混）オキシラン水和剤 （混）ベルクガード水和剤 （混）ダイパワー水和剤 ＩＣボルドー４８Ｑ パスポート顆粒水和剤 （混）カスミンボルドー （混）カッパーシン水和剤 （混）園芸ボルドー

農薬の使用方法や注意事項はラベルで確認する

なし

防除法 病害虫名	防除のポイント	薬剤防除 防除時期	RACコード	薬剤
3 黒斑病 ナシ： *Alternaria kikuchiana* セイヨウナシ： *A. alternata*	1. 病斑のある枝を切り取る（特に、秋枝の病斑に注意する）。 2. 被害果は摘採して処分する。 3. 強せん定や夏季せん定すると秋枝が多発するおそれがある。 4. 窒素質肥料の過用を避ける。 **〈薬剤使用の特記事項〉** 1. アルタベールフロアブルは、石灰硫黄合剤及びボルドー液との混用はできない。 2. アントラコール顆粒水和剤は6月上旬以降に使用する（未展開葉では、薬害のおそれがある）。 3. アントラコール顆粒水和剤は休眠期でも使用できる。 4. アミスター10フロアブル、ストロビードライフロアブル、フロンサイドSC、ベルクート水和剤・フロアブル、ナリアWDGの注意事項は黒星病の項を参照。	脱包直前 （3月上旬 ～下旬）	M1・UNM	（混）アルタベールフロアブル
		開花直前 ～8月上旬 （10日おき）	2	ロブラール水和剤
			3	スコア顆粒水和剤
			3	オンリーワンフロアブル
			3	ベランティ―フロアブル
			7	パレード15フロアブル
			7	ロンセラーフロアブル
			11	アミスター10フロアブル
			11	ストロビードライフロアブル
			29	フロンサイドSC
			M1	キノンドーフロアブル
			M1	キノンドー顆粒水和剤
			M1	ドキリンフロアブル
			M3	アントラコール顆粒水和剤
			M5	ダコニール1000
			M7	ベルクート水和剤
			M7	ベルクートフロアブル
			M9	デランフロアブル
			7・11	（混）ナリアWDG
			3・7	（混）アクサーフロアブル
			P7・M4	（混）アリエッティC水和剤
			M3・M7	（混）ベルクガード水和剤
		8月下旬 ～9月下旬 （2回散布）	19	ポリオキシンAL水和剤
4 うどんこ病 *Phyllactinia pyri-serotinae*	1. 日当たりを良好にし、適正な肥培管理に努める。 2. 被害葉を集めて、処分する。 **〈薬剤使用の特記事項〉** 1. ストロビードライフロアブル、ミギワ20フロアブル、ベルクート水和剤、ナリアWDGの注意事項は黒星病の項を参照。	5月中旬～下旬 7月上旬 ～9月下旬	1	トップジンM水和剤
			1	ベンレート水和剤
			3	アンビルフロアブル
			3	トリフミン水和剤
			3	ルビゲン水和剤
			3	サンリット水和剤
			3	ベランティ―フロアブル
			7	アフェットフロアブル
			7	フルーツセイバー
			7	パレード15フロアブル
			11	ストロビードライフロアブル
			19	ポリオキシンAL水和剤
			52	ミギワ20フロアブル
			52	アイーナ20フロアブル
			M7	ベルクート水和剤
			7・11	（混）ナリアWDG
			19	（混）デュアルサイド水和剤
			M4・M7	（混）ダイパワー水和剤
5 輪紋病 *Botryosphaeria berengeriana* f. sp. *piricola*	1. 被害枝を除く。 **〈薬剤使用の特記事項〉** 1. アミスター10フロアブル、ストロビードライフロアブル、フロンサイドSC、ベルクート水和剤・フロアブル、ナリアWDGの注意事項は黒星病の項を参照。	せん定整枝時、病患部削り取り直後	1	トップジンMペースト
		4月上旬 ～9月下旬	1	トップジンM水和剤
			1	ベンレート水和剤
			3	アンビルフロアブル
			3	スコア顆粒水和剤
			7	パレード15フロアブル
			11	アミスター10フロアブル
			11	ストロビードライフロアブル
			29	フロンサイドSC
			M1	オキシンドー水和剤80
			M1	キノンドーフロアブル
			M1	ドキリンフロアブル
			M4	オーソサイド水和剤80
			M7	ベルクート水和剤
			M7	ベルクートフロアブル
			7・11	（混）ナリアWDG
			P7・M4	（混）アリエッティC水和剤
			M1・M4	（混）オキシラン水和剤
			M3・M7	（混）ベルクガード水和剤

なし

防除法 病害虫名	防除のポイント	薬剤防除 防除時期	RACコード	薬剤
6 胴枯病 （心腐れ症） ナシ： *Phomopsis fukushii* セイヨウナシ： *Diaporthe tanakae*	1.被害枝を除く。	発芽前	1	トップジンＭペースト
		4月上旬 ～5月中旬	1	ベンレート水和剤
		5月下旬	1	トップジンＭペースト
7 白紋羽病 *Rosellinia necatrix*	1.かんきつの紋羽病に準じる。 **〈薬剤使用の特記事項〉** ●病樹の治療 1.フロンサイドＳＣは休眠期に使用してもよいが、使用回数に注意する。 ●夏～秋期（翌春植付） 1.消毒方法はⅢ－14．土壌病害虫の防除の項を参照。	病樹の治療	6 29	フジワン粒剤 フロンサイドＳＣ
		休眠期	1	トップジンＭ水和剤
		夏～秋期 （翌春植付）	－ －	ガスター微粒剤 バスアミド微粒剤
8 疫病 *Phytophthora cactorum* *P.syringae*	1.発病枝は切り取り、処分する。 2.排水溝を作り、園内の排水を図る。 3.４月末までに敷きわらを行って、風雨による土のはねかえりを防止する。 **〈薬剤使用の特記事項〉** 1.アリエッティ水和剤は６月下旬までの散布は、葉に薬害を生じるおそれがあるので避ける。なお、幸水及び豊水に使用する場合、６月中旬までの散布は葉に軽度のクロロシスを生じる場合があるが影響はない。	発生初期 （４月下旬 ～５月中旬） 発生期	P7 M4	アリエッティ水和剤 オーソサイド水和剤８０
9 アブラムシ類	1.花木やナス科植物を園内や園の周辺に植えない。 2.下草、周辺雑草を処分する。 **〈薬剤使用の特記事項〉** 1.モスピラン顆粒水溶剤は、新高、八雲、長十郎、愛甘水に薬害を生じるおそれがあるので使用しない。 2.ハチハチフロアブルはニセナシサビダニにも登録がある。 3.ミクロデナポン水和剤８５は、日本なしに登録がある。 4.ピレスロイド系剤(RACコード3A)の注意事項 ・蚕毒が特に強いので注意する。 ・散布後、ハダニ類が増えることがあるので注意する。	発生初期 （３月下旬 ～７月上旬）	1A 1A 3A 3A 3A 3A 3A 3A 3A 3A 3A 3A 3A 3A 3A 3A 4A 4A 4A 4A 4A 4A 4A 4A 4A 4C 9B 21A 23 28 29 － 1B･3A	ミクロデナポン水和剤８５ オリオン水和剤４０ アディオン水和剤 アディオンフロアブル アディオン乳剤 アグロスリン水和剤 サイハロン水和剤 スカウトフロアブル ロディー水和剤 テルスター水和剤 テルスターフロアブル マブリック水和剤２０ アークリン水和剤 アーデントフロアブル バイスロイドEW アドマイヤー水和剤 アドマイヤー顆粒水和剤 アドマイヤーフロアブル モスピラン顆粒水溶剤 ベストガード水溶剤 ダントツ水溶剤 アルバリン顆粒水溶剤 スタークル顆粒水溶剤 バリアード顆粒水和剤 トランスフォームフロアブル コルト顆粒水和剤 ハチハチフロアブル モベントフロアブル エクシレルＳＥ ウララＤＦ オレート液剤 （混）パーマチオン水和剤

農薬の使用方法や注意事項はラベルで確認する

なし

防除法 病害虫名	防除のポイント	薬剤防除		
		防除時期	RACコード	薬剤
10 ナシマルカイガラムシ （サンホーゼカイガラムシ）	1.冬期粗皮削りをする。 2.せん定時に寄生の多い枝を切る。	11月～2月	UNM UNM UNM UNM	機械油乳剤95 トモノール トモノールS スプレーオイル
		3月中下旬 （発芽前）	UN	石灰硫黄合剤
11 クワコナカイガラムシ	1.冬期粗皮削り、バンド誘殺をする。 2.せん定時に寄生の多い枝を切る。 **〈薬剤使用の特記事項〉** 1.モスピラン顆粒水溶剤の注意事項はアブラムシ類の項を参照。 2.アプロード水和剤は幼虫での登録である。 3.ミクロデナポン水和剤８５は、日本なしに登録がある。	休眠期	UNM M1･UNM	ハーベストオイル (混)アルタベールフロアブル
		4月上旬～5月中旬 7月上旬～7月中旬 8月下旬～9月上旬	1A 1A 4A 4A 4A 4A 4A 4A 4C 16 21A 9B	ミクロデナポン水和剤85 オリオン水和剤40 アドマイヤー顆粒水和剤 モスピラン顆粒水溶剤 ダントツ水溶剤 アルバリン顆粒水溶剤 スタークル顆粒水溶剤 バリアード顆粒水和剤 トランスフォームフロアブル アプロード水和剤 ハチハチフロアブル コルト顆粒水和剤
12 カメムシ類	1.防虫ネット（4㎜目合以下）で園全体を被覆する。 2.黄色蛍光灯を設置するとチャバネアオカメムシの被害が軽減される。ただし、クサギカメムシやツヤアオカメムシには効果がない。 3.袋かけを行う。 **〈薬剤使用の特記事項〉** 1.モスピラン顆粒水溶剤の注意事項はアブラムシ類の項を参照。 2.ピレスロイド系剤(RACコード3A)の注意事項 ・蚕毒が特に強いので注意する。 ・散布後、ハダニ類が増えることがあるので注意する。	4月下旬～9月中旬	1B 1B 3A 3A 3A 3A 3A 3A 3A 3A 3A 3A 3A 4A 4A 4A 4A 4A 4A 4A 4A 4A 4A 4A 4A･28 1B･3A	スミチオン水和剤40 スミチオン乳剤 アディオンフロアブル アディオン乳剤 アグロスリン水和剤 サイハロン水和剤 スカウトフロアブル ロディー水和剤 テルスター水和剤 テルスターフロアブル マブリック水和剤20 アーデントフロアブル アーデント水和剤 アドマイヤー顆粒水和剤 アドマイヤー水和剤 モスピラン顆粒水溶剤 ベストガード水溶剤 ダントツ水溶剤 アルバリン顆粒水溶剤 スタークル顆粒水溶剤 バリアード顆粒水和剤 アクタラ顆粒水溶剤 （混）キックオフ顆粒水和剤 (混)パーマチオン水和剤
13 ナシグンバイ	1.冬期間に粗皮削りを行い、園内外を清潔にする。 **〈薬剤使用の特記事項〉** 1.ピレスロイド系剤(RACコード3A)の注意事項 ・蚕毒が特に強いので注意する。 ・散布後、ハダニ類が増えることがあるので注意する。	発生期 （5～7月）	3A 1B･3A	マブリック水和剤20 (混)パーマチオン水和剤

農薬の使用方法や注意事項はラベルで確認する

なし

防除法 病害虫名	防除のポイント	薬剤防除		
		防除時期	RACコード	薬剤
14 ナシヒメシンクイ ナシオオシンクイ （シンクイムシ類）	1.バンド誘殺、冬期粗皮削り、越冬幼虫の刺殺、心折れの摘採、被害果の処理等をする。 **〈薬剤使用の特記事項〉** 1.モスピラン顆粒水溶剤の注意事項はアブラムシ類の項を参照。 2.ミクロデナポン水和剤８５は、日本なしに登録がある。 3.ピレスロイド系剤(RACコード3A)の注意事項 ・蚕毒が特に強いので注意する。 ・散布後、ハダニ類が増えることがあるので注意する。	３月下旬 ～９月中旬	1A 1A 1B 3A 3A 3A 3A 3A 3A 3A 3A 3A 3A 3A 3A 4A 4A 4A 4A 4A 5 15 15 28 28 28 28 1B･3A	ミクロデナポン水和剤８５ オリオン水和剤４０ スミチオン水和剤４０ アディオンフロアブル アディオン乳剤 アグロスリン水和剤 サイハロン水和剤 スカウトフロアブル ロディー水和剤 テルスター水和剤 テルスターフロアブル マブリック水和剤２０ アークリン水和剤 バイスロイドＥＷ モスピラン顆粒水溶剤 ダントツ水溶剤 アルバリン顆粒水溶剤 スタークル顆粒水溶剤 バリアード顆粒水和剤 ディアナＷＤＧ ノーモルト乳剤 デミリン水和剤 サムコルフロアブル１０ テッパン液剤 ヨーバルフロアブル エクシレルＳＥ （混）パーマチオン水和剤
15 ハマキムシ類	1.粗皮削りを行うとともに、卵塊をつぶす。 2.受粉時に葉巻内の越冬幼虫を捕殺する。 **〈薬剤使用の特記事項〉** 1.ダイアジノン水和剤３４は日本なしに登録がある。 2.ピレスロイド系剤(RACコード3A)の注意事項 ・蚕毒が特に強いので注意する。 ・散布後、ハダニ類が増えることがあるので注意する。	３月下旬 ～９月上旬	1A 1B 1B 3A 3A 3A 3A 3A 3A 3A 3A 3A 5 11A 11A 11A 11A 11A 11A 15 28 28 28 28 1B･3A	オリオン水和剤４０ スミチオン水和剤４０ ダイアジノン水和剤３４ アディオン乳剤 アグロスリン水和剤 サイハロン水和剤 ロディー水和剤 テルスター水和剤 テルスターフロアブル マブリック水和剤２０ アークリン水和剤 バイスロイドＥＷ ディアナＷＤＧ トアロー水和剤ＣＴ ゼンターリ顆粒水和剤 デルフィン顆粒水和剤 エスマルクＤＦ クオークフロアブル ファイブスター顆粒水和剤 チューンアップ顆粒水和剤 アタブロンＳＣ サムコルフロアブル１０ ヨーバルフロアブル テッパン液剤 エクシレルＳＥ （混）パーマチオン水和剤

農薬の使用方法や注意事項はラベルで確認する

なし

防除法 病害虫名	防除のポイント	薬剤防除 防除時期	RACコード	薬剤
16 ナシホソガ （ナシカワモグリ）	1.冬期粗皮削りをする。 2.せん定時に被害枝をなるべく取り除く。 3.５～６月と８月に表皮の剥がれた部分をすりつぶして殺す。 **〈薬剤使用の特記事項〉** 1.モスピラン顆粒水溶剤の注意事項はアブラムシ類の項を参照。 2.ピレスロイド系剤(RACコード3A)の注意事項 ・蚕毒が特に強いので注意する。 ・散布後、ハダニ類が増えることがあるので注意する。	６月下旬 ～７月上旬 ８月中下旬	3A 4A 15 1B･3A	マブリック水和剤２０ モスピラン顆粒水溶剤 ノーモルト乳剤 （混）パーマチオン水和剤
17 クワゴマダラヒトリ	1.８月下旬に果樹園周辺のクワ、アカメガシワ、カラスザンショウ（カラスノサンショウ）などの産卵植物を伐採する。 2.10月上旬に産卵植物上の巣網を採集し、処分する。	発生初期	11A 11A 11A	デルフィン顆粒水和剤 エスマルクＤＦ ファイブスター顆粒水和剤
18 ケムシ類	1.せん定時に卵がついている枝を切り取る。	発生初期	1A 4A 4A 4A 28 28 28 28	オリオン水和剤４０ ダントツ水溶剤 アルバリン顆粒水溶剤 スタークル顆粒水溶剤 サムコルフロアブル１０ フェニックスフロアブル フェニックス顆粒水和剤 エクシレルＳＥ
19 ハダニ類 ミカンハダニ カンザワハダニ ナミハダニ	1.下草、周辺雑草を処分する。 2.８月中旬に誘殺バンドを設置する。 **〈薬剤使用の特記事項〉** 1.殺ダニ剤は連用すると抵抗性が出やすいので、同一成分農薬の使用は年１回とする。 2.アルタベールフロアブルは、石灰硫黄合剤及びボルドー液との混用はできない。 3.コテツフロアブルはカンザワハダニ、ナミハダニに登録がある。 4.ダニカット乳剤２０はナミハダニに登録がない。 5.コロマイト乳剤は薬害のおそれがあるので、６月以前には使用しない。また、施設栽培では使用しない。 6.コロマイト水和剤は洋なし(ル・レクチェ)に使用する場合は、薬害のおそれがあるので袋かけ後に散布すること。 7.カネマイトフロアブルは葉への薬害のおそれがあるため、交配から交配後30日までは使用しない。	11月～２月 休眠期 ５月中旬 ～９月下旬	UNM UNM UNM UNM UNM M1･UNM 3A 6 6 10A 10B 12D 13 15 19 20B 21A 21A 23 23 25A 25A 25B 33 3A･10B	機械油乳剤９５ トモノー スピンドロン乳剤 スプレーオイル ハーベストオイル （混）アルタベールフロアブル テルスター水和剤 コロマイト乳剤 コロマイト水和剤 ニッソラン水和剤 バロックフロアブル テデオン乳剤 コテツフロアブル カスケード乳剤 ダニカット乳剤２０ カネマイトフロアブル ダニトロンフロアブル サンマイト水和剤 ダニゲッターフロアブル モベントフロアブル スターマイトフロアブル ダニサラバフロアブル ダニコングフロアブル ダニオーテフロアブル （混）ビルク水和剤
20 ニセナシサビダニ	**〈薬剤使用の特記事項〉** 1.コロマイト乳剤、カネマイトフロアブルの注意事項はハダニ類の項を参照。	発芽前 発生初期	UN UNM 6 13 20B 21A 21A 21A 23	クムラス アタックオイル コロマイト乳剤 コテツフロアブル カネマイトフロアブル ダニトロンフロアブル サンマイト水和剤 ハチハチフロアブル モベントフロアブル

農薬の使用方法や注意事項はラベルで確認する